

令和5年度第1回岡崎市放課後児童クラブ支援員研修会レポート

- 【日時】 2023年(6)月(7)日(水)9時30分~11時30分
【会場】 岡崎市役所福祉会館6階大ホール
【内容】 「配慮が必要な児童への育成支援について」
【講師】 1日目:木全和巳さん(日本福祉大学)、2日目:佐々木将芳さん(静岡県立大学)

【クラブ】(あそびばクラブ)

【名前】(島田歩実)

本日の研修で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください(自由記述)。

今回の研修の中で、様々なことを学ばせて頂きましたがその中でも「本人の視点に立って考え、事例を本人の視点に書きかえて考えてみる」、「本人視点の見立てを本人に共有する」、さらには「本人と現場だけではなく、父母をはじめとする周りの大人たちにも伝えていく」というお言葉が特に心に残っています。今までカンファレンスルームをはじめ様々な研修や勉強会で、その子どもが何を思っているのか?本当はどうしたいのか?とたくさん考えてきました。何を思っているのか考えることはもちろん大切で、それに加えてその仮説を自分の中と周りの大人の中だけで共有しおとしこむのではなく、本人にも共有するという点がすごくハッとさせられました。講義の中でも「本人が意外と自分のことは分からなかったりするよ」というお言葉があったように、本人に「こう思ってるのかな?」と共有しても、もしかしてすぐには本人も分からないかもしれません。でも、周りの大人たちはあなたのキモチを分かりたいと思っているよ、ということが伝わるのがまずは大切だと思うし、何より、一緒にキモチを探っていくことも大切だと感じました。木全先生の「自分のことを自分で分かりながら、周りの人にも分かってもらえる=分かり合えると学童が楽しくなるよ、大好きになるよ」というお言葉も心に残っています。子どもたちから時々、「どうせ、信じてくれないだろ」、「全然お前オレの言うこと分かってないやん!」という言葉ももらって悲しくなります。分かってあげられなくてごめんね、でもどうせなんて言わないでと思います。キモチを分かり合うって簡単ではないことだと思うけど、まずは私たち大人が、どうせこうでしょ。と決めつけたり、反抗的なことばかり言うからもう話さくのをやめろ。とこちらからシャッターを閉じてしまったりするのではなく、あなたのキモチ全ては分からないかもしれないけど、さらにはもしかして共感もできないかもしれないけど、でも分かりたいと思っているよというキモチはこれからも子どもたちに示していきたいし少しでも伝わっていくといいなと感じました。

もうひとつ、「指導員同士が共通のまなざしで子どもたちのことを受け止めているよということが伝わると、子どもたちは安心するよ」というお言葉も心に残っています。私の中の今の課題のひとつでもあるからです。指導員同士が共通のまなざしをもつ…。子どもたちから「あゆみはこうやって言ったのに、〇〇(指導員)はこうやって言ったじゃん!!」という言葉ももらうことがあります。ドキッとします。指導員さんそれぞれ価値観もまなざしもともともっているものが違う中で、接し方もそれぞれの色があります。いろいろな色があること、いろいろな角度からの大人があることは良いことである

と思っています。でも、「今のこの子に対して、どう接していきましょうか?」「〇〇だと思うから、こういう風に接していきましょう」というように、皆さんの思いをききつつ、自分の思いも話し、その上である程度の共通のまなざしを導き示す役割が私にはあります。それを私が今うまくやれていないなと思っていてもやもやしています。「いろいろな大人の色があるからいいじゃん」だと、子どもたちを「大人たちの言っていることが違う…」と困らせてしまうことになってしまいます。「自分は指導員集団の中でどんな立ち位置、役割なのかを考える」とも仰っていたように、目の前の子どもに対してみんながみんな同じアプローチの仕方ではないと思うし、それぞれの役割があるけれど、いろいろな色のすりあわせをした上で、目の前の子どもの今の現状を捉え、現段階の共通のまなざしを指導員集団全体に向けて導き出すことを今後の自分の課題のひとつとしていきたいなと感じました。

最後に、「エピソードがとっても大事。エピソードの流れが物語になり、本人を理解する上のヒントになる」というお言葉もとても心に残っています。毎日子どもたちひとりひとりの様子を本当は頭の中に動画として残しておけたらどれだけいいだろうと思ってしまう程、子どもたちの行動や言動はとても生き生きとしています。だからこそ、子どもたちひとりひとりの様子を記録として残していくことをこれからも大切にしていきます。そうすることによって、子どもたちひとりひとりのキモチを少しでも理解するための財産となっていくといいなと思いました。

※提出されたレポートは、当会のホームページや広報誌に掲載する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※〆切は、研修終了後、2週間以内です。常勤・専任指導員に手渡し、または、okazakigakudou@yahoo.co.jp までお送りください。